

## 1.概要

- 県事業「しずおか自動運転 Show CASE プロジェクト」の一環として実施
- 沼津駅-沼津港間での自動運転レベル3の実証実験

## 2.目的

- 交通量の多い都市部において、自動運転+信号制御の効果・課題を検証
- にぎわい波及効果等、まちづくりへの活用可能性を検証

## 3.運行方法

期 間	令和2年1月6日(月) ~ 17日(金) 現地調整 令和2年1月22日(水) ~ 31日(金) 一般乗客試乗
ル ー ト	沼津駅-沼津港間 (さんさん通り直通・停留所なし)
頻 度	7往復/日
車 両	シントウギャザー社製 E-COM10 (最高速度19km/h)
定 員	16名 (運転手含む)
運 賃	無料
予 約	アプリケーションを利用

## 4.関係機関と役割

静岡県	事業主体、関係機関調整
ダイナミックマップ基盤	高精度3D地図作成
群馬大学	自動運転技術
小糸製作所・コイト電工	交通管制信号制御
伊豆箱根バス (※東海自動車)	運行管理
ヴァル研究所	アプリケーション (MaaSアプリ)
損保ジャパン日本興亜	保険
沼津市	現地調整、PR活動

## 5.特徴

- GPS位置情報を利用した自動運転バス優先信号制御 (国内初)



# 信号制御について

## 信号制御方法

### 【交通管制システムとの連動】

自動運転バスに搭載した車載機からの位置情報を基にしたバス優先信号制御の、バス定時走行支援における有効性を確認すると共に、優先信号制御による交差点の渋滞への影響を調査する。

